

令和8年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	理科	科学と人間生活	全	2	高等学校科学と人間生活改訂版(啓林館)	高等学校 科学と人間生活学習ノート改訂版(啓林館)
学習の到達目標 ・科学技術の歩みと恩恵を理解し、日常の事象を科学的に探究する主体的な態度を養う。 ・遺伝、健康、衣食の仕組みを学び、科学的根拠に基づき生活を改善・選択する判断力を身に付ける。 ・光や熱の性質を学習し、身近な製品の原理やエネルギーの効率的な利用法について考察できる。 ・地震・火山・河川の災害リスクを理解し、ハザードマップ等を活用して防災行動を立案できる。						
学期	回	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	序章 科学技術の発展			・科学技術の歩みが現代社会に与えた恩恵を学び、これからの社会との関わりを理解している。	
	5月	第1部 生命の科学 第1章 ヒトの生命現象	A タンパク質と遺伝子 B ヒトの視覚と光 C 血糖濃度の調節 D 免疫	・タンパク質とDNAの関係を学び、遺伝情報の伝達と合成の仕組みを理解している。 ・眼の構造と光を感じる仕組み、体内時計と健康の関わりを理解している。 ・血糖値が調節される仕組みと、インスリンなどのホルモンの役割を理解している。 ・病原体から体を守る免疫の仕組みや、ワクチンの効果を理解している。		
	6月	第2部 物質の科学 第2章 衣料と食品	A 衣料の科学		・繊維の種類と性質を学び、衣服の適切な取り扱い方法を理解している。	
	7月		B 食品の科学		・食品成分の性質や調理による変化を学び、栄養素の役割を理解している。	
	9月	第3部 光や熱の科学 ※第1章または2章のどちらかを学習する 第1章 光の性質とその利用	A 光の進み方 B 光の波としての性質 C 電磁波とその利用	・反射・屈折の法則と、凸レンズによる像の形成を理解している。 ・干渉や散乱により色がつく仕組みを学び、電磁波の性質を理解している。 ・電磁波の種類と性質を学び、通信や家電等での具体的な利用を理解している。		
10月	第2章 熱の性質とその利用	A 熱とは何か B エネルギーの利用	・温度と熱運動、比熱の概念を学び、計算や熱の伝わり方の違いについて理解している。 ・熱機関の仕組みやエネルギーの変換を学び、省エネルギー技術の具体的な仕組みを理解している。			
後期	11月	第4部 宇宙や地球の科学 第2章 自然景観と自然災害	A 河川のはたらきによる景観と災害 B 地震による景観と災害 C 火山による景観と災害	・河川による侵食・運搬・堆積作用と、それによる地形形成を理解している。 ・地震が発生する仕組みを学び、大地の変形と災害の関係を理解している。 ・火山活動が作る多様な景観と、噴火に伴う災害の仕組みを理解している。		
	12月					
	1月 2月	終章 これからの科学と人間生活			・身近な科学的疑問からテーマを設定し、観察や実験を通して解決する手法を身に付ける。	